



Interview
アーティスト
マイケル・ソイさん

EVENT 93 MARKETING

発行所: 株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL.03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

都市のエネルギーは顔に出る!?



“今知っておくべきアフリカの現代アーティスト6人”(Industrie Africa *アフリカのトップデザイナーのアート・ファッションを扱うサイト) に選ばれているケニアのアーティストマイケル・ソイ氏。

「アートは自分の経験や世界を見せるため」と、「ランキングやアートコンペに興味はないよ」と話す。

作品はケニア国内やアフリカにとどまらず、アフリカ、欧州、米国から注目され、ケニア育ちのアカデミー賞女優ビタ・ニヨンゴがバッグ(持ち歩いて楽しめるアート)を持ったことから話題を呼んだ。

日本では2017年に渋谷のBunkamura Galleryで展覧会があり、その機会に私もソイさんのスクラッチバックの一つを持った。その

バッグには、今号の表紙でもソイ氏が描いているアフリカの女性のポートレートが描かれている。渋谷のスクランブル交差点をこのバッグを手を渡しても、あの雑踏や若者たちに顔負けしないくらい、インパクトとエネルギーに溢れていた。

彼はとても楽しそうに描くと、アトリエで取材をしたインタビュアーに聞いた(インタ

ビューは8p参照)。

イギリスやオランダなどでもレジデンシープログラムを経験があるソイ氏。日本でも、東京や大阪、あらゆる都市の人々を描いてもらったら、ポップになるのだろうか、パワフルになるのだろうか、どんな表情になるのかみてみたい。

(編集部・樋口 陽子)

オンラインでも オフラインでも、

**ビジネスイベントのお悩みは
イベントレジストにお任せください!**



申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



イベントレジスト株式会社
<https://eventregist.com>

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com



新しいイベント会場の選び方

- エリア連携と多空間利用 リアル開催成功の方程式 -

場の持つ力は、イベントのメッセージ・コンテンツとの親和性や意外性を進展させたり、腹落ちさせたりする。目的と機能の組合せ次第で、効果が増幅することも。今回の特集では、表情豊かなイベントプログラムを、広い視点でデザインできる会場・エリアの窓口を紹介する。

面で捉える!?

イベントトレンド

エリア連携だけじゃない。関連イベントの連携で拡張展開した好例には「City-Tech.Tokyo」(2/27・28、東京国際フォーラム)がある。サイドイベント/関連イベントを26も展開した。



世界の投資家やスタートアップ支援組織を中心に招待したイベント「Extra Night on the Roof」(渋谷)



日本流のインベーショナルチャーを発信するカンファレンス「インベーショナルガーデン2023」(丸の内)

新しい選び方って?

規制緩和やテクノロジーで広がる選択肢

3月16日、新虎通りが東京都内で初めて、歩行者利便増進道路(ほこみち)の利便増進誘導区域に指定された。これによって、歩道等を活用して、「新虎ストリートマルシェ」(4/27~28)、「ミューラルアートプロジェクト」(4/27以降展示予定)など、グルメ・雑貨やアートといったイベント企画が実施される。

空間利用の選択肢の広がり、規制緩和によるものだけではない。

クリエイティブ系イベント×ボイス・テキストチャットツール Discord の# Welcome チャンネルが事前ミートアップの空間になって、リアルの場でのディスカッションを滑らかにするように、テクノロジーによる心地よい居場所づくりも進んでいる。

選択肢の広がりによって改めて意識することが2つある。一つはその空間が本来専門とする機能、二つ目は、チャレンジ的な取り組みでは特にコンタクトのしやすさだ。効率的だし、実現に大きく関わる。

新しい選び方というのは、つまり、目的と空間の最適化と、窓口のUIデザインの設計の話に帰着する。どんな人たちが集まって、何を

持ち帰ってもらいたいのか、そのための場に必要なのは開放感か、親密感かによっても規模に対する考え方も変わってくる。また、多空間利用・エリア活用のイベントでは特に窓口がワンストップであることが重要。会場もイベント成功のチームの一員だ。

●2023年3月から2024年4月にオープンする新会場

新しい機能とどう組合せる?

エリア	会場名	開業予定時期
東京・江東区	有明展示場GYM-EX	2023年春
東京・中央区	東京ミッドタウン八重洲カンファレンス	2023年3月10日
長崎・佐世保市	ハウステンボス歌劇大劇場	2023年3月16日
福岡・福岡市	DAIMYO CONFERENCE	2023年4月6日
東京・新宿区	THEATER MILANO-Za	2023年4月14日
東京・新宿区	Zepp Shinjuku(TOKYO)	2023年4月17日
東京・港区	日比谷スカイカンファレンス	2023年5月8日
佐賀・佐賀市	SAGAアリーナ	2023年5月13日
神奈川・横浜	Kアリーナ横浜	2023年7月
東京・港区	TOKYO NODE	2023年秋
岡山・岡山市	岡山芸術創造劇場 ハレノワ	2023年9月1日
東京・新宿区	歌舞伎町劇場	2023年10月
神奈川・川崎	SUPERNOVA 川崎(スベルノーヴァ川崎)	2023年10月15日
東京・文京区	IMM THEATER(アイ エム エム シアター)	2024年1月
愛知・名古屋	中日ホール & カンファレンス	2024年4月

会議・カンファレンス施設、ホール、ライブ会場、劇場とさまざまな機能を持つ会場が多数オープンする

展示会・イベントの 持続可能な未来を目指して



70

100%

電力

処理能力 需要

展示会場以外の電気工事ができる事もっとアピールした方がよいんじゃないの?

“お陰様で70周年”

最近では東京ポートシティ竹芝ポートホールをはじめとしたカンファレンス施設での工事も増えてきました。陰ながら縁の下で支えさせて頂いています。

株式会社 鈴木電機
〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201(代) FAX03(3845)3040
URL: http://www.suzukidenki.co.jp

Unique venue

「地域連携」でのイベント開催 必須条件とは

「浜離宮恩賜庭園」「浜松町・竹芝・芝浦エリア」 / 「COREDO 室町テラス 大屋根広場」 「日本橋室町エリア」のユニークベニューショーケースイベント

東京観光財団では「令和4年度ユニークベニューショーケースイベント」として、“複数施設の機能的活用”や“地域連携”をテーマに、2つのエリアで多空間（オンライン含む）を利用したユニークベニュー活用法を紹介、MICE関係者約60名が参加（現地）するイベントを実施した。この事例の共通点は、開発と伝統を両立させる持続可能な街の魅力体験、そして、場をつなぐ語り部となる人と物語性。街全体が会場となりそうだ。



「浜離宮恩賜庭園」では、100年以上続く庭園の鑑賞後、御茶屋にていけばなパフォーマンスを堪能、芝百年会提供の芝エリア特産品と東京産食材の試飲・試食が行われた



「COREDO 室町テラス 大屋根広場」では「日本橋室町エリア」へのタイムトラベルツアーの物語仕立てた仕掛けを大型LEDビジョンや空間を舞台のように縦横無尽に使用し展開



「東京ポートシティ竹芝 ポートホール」では壁一面400インチのスクリーンを使いトークステージを展開



「浜離宮恩賜庭園」御茶屋のいけばなパフォーマンス鑑賞後、芝エリア特産品と東京産食材の試飲・試食も

DMO芝東京ベイとは



「DMO芝東京ベイ」は2021年9月に設立。対象エリアは竹芝エリア、浜松町エリア、芝浦エリアと広く、会員企業も63社・団体と多様さが特徴。（写真：トークステージで解説するDMO芝東京ベイ事務局長田中敦典さん）

最先端と伝統の風景を「見る」

コントラスト比が大きいほど写真にメリハリがつくように、街のもつ2つの顔の対比が印象をより深くする。こんな街体験を実際に3時間ほどで実現したプログラムが、「浜離宮恩賜庭園」「浜松町・竹芝・芝浦エリア」のユニークベニューショーケースイベントだ。

2月22日当日、前半の開会とトークショーの会場となったのは「浜松町・竹芝・芝浦エリア」の中核施設になっている「東京ポートシティ竹芝 ポートホール」。2020年9月に開業し、竹芝の新たなランドマークとしてだけでなく、混雑状況を把握するリアルタイムデータの収集・分析のほか、テクノロジーを活用する最先端のスマートビルだ。

後半には、江戸時代からの代表的な大名庭園「浜離宮恩賜庭園」へと会場を移した。移動は水上バスで約15分、ほどなく景色がガラッと変化する。緑豊かな庭園と都心のビル群との距離も近く、水辺から最先端と伝統のどちらの風景も一度に堪能できるのはエリアの醍醐味だ。

エリア連携でのプログラム醸成には、DMO芝東京ベイ、芝百年会の存在が大きく貢献している。

浜松町駅前の開発も進行中で今後、最先端と伝統の風景の変化を最も感じられるエリアになりそうだ。

老舗の店と街の歴史と革新「聴く」

「COREDO 室町テラス 大屋根広場」「日本橋室町エリア」のユニークベニューショーケースイベントでは、老舗の店舗や街並みの持つ伝統の物語を、タイムトラベルツアーに仕立て、江戸の町人や武士、忍者に扮した役者との街歩き、そして謎解きといったエンターテインメント性あるプログラムで実施した。

3月8日当日、「COREDO 室町テラス 大屋根広場」のオープンエアな場に受付が設置され、ウェルカムドリンクの提供も。前半のトークステージではビル内の「室町三井ホール&カンファレンス」でエリアならではのMICE活用事例やコラボ活動の紹介があった。コラボ事例として老舗店と「日本橋さぶれ」を開発した企業へ「老舗店のハードルは高かったのでは」と質問があったが、「チャレンジに前向きという印象と、失敗を恐れない挑戦があったからこそその継承なのだ」と語った。

後半の「日本橋室町エリア」の街歩きでは、1699年創業のにんべん 日本橋本店や1849年創業の山本海苔店の店舗内で試飲・試食を交えた提供があり息づく伝統体験も。

「COREDO 室町テラス 大屋根広場」の大型LEDビジョンはじめ、「福德の森」や「仲通り」など多様な屋外空間活用にも可能性を感じる。



「室町三井ホール&カンファレンス」ではトークステージで日本橋エリアならではのMICE活用を紹介



江戸時代から続く技や心を体験する食文化やユニークベニューを巡るタイムトラベルツアーの語り部に注目

日本橋室町エリアマネジメントとは



イノベーションに挑む人々の活動をサポートする「日本橋室町エリアマネジメント」。ライフサイエンスや宇宙産業のハブ都市を表明し街を活用したイベント実績も。（写真：トークステージで解説する日本橋室町エリアマネジメント事務局長黒田誠さん）



藤村 博信さん

公益財団法人
東京観光財団
コンベンション事業部次長
兼誘致事業課長

「日本橋室町エリア」「浜松町・竹芝・芝浦エリア」はともに、東京ビジネスイベント先進エリアに指定されており、MICE施設、ユニークベニュー、宿泊ホテルの充実したエリアです。

これまでは一施設での実施が少なくありませんでしたが、今回は地域連携をテーマにエリアで実施しました。主催者のニーズが地域特性を体感できるイベントへと移行しており、今後のイベントの未来をショーケースするとい

う意味でも、トレンドを意識したプログラム構成になっています。

ワンストップで施設手配、アレンジ、街歩きツアーが実施できる、エリアにおける窓口があることもイベント実施の重要事項ですね。

New
venue

中日ホール & カンファレンス 名古屋・栄に1フロア完結の多目的会場

● 2024 年春オープン (予定)



「中日ホール & カンファレンス」はホール施設 (636.6㎡・写真上)、カンファレンス施設7室 (33㎡～212㎡・写真左下) に加え、ホテルのケータリングも提供予定のパントリー付き Boardroom (182㎡・写真右下) があり、1フロアに揃うのが特徴

名古屋市の賑わいの拠点である栄の中心で、現在建て替え建設中の中日ビル内に、「中日ホール & カンファレンス」が2024年春オープンする。ビルイン施設で、6階フロアには

- ・ホール (636.6㎡・シアター 634席)
- ・ホワイエ (430.7㎡)
- ・控室 5室 (ホール付帯)
- ・Room1～7 (33㎡～212㎡)
- ・Boardroom (182㎡)

が1つのフロアに完結した空間構成で、各会場の個別利用からフロア一体活用まで多様なニーズに対応する。

開業前の市場調査・コンサルティングや開業後の運営管理をするのは、都内13会場を運

営管理する株式会社マグネットスタジオ。名古屋は初進出となる。担当する大塚裕紀さんは、ホール運営歴10年、前職でイベントの音響・映像オペレーション歴8年とイベント業界での実績とノウハウを持つ。都内で3会場の管理運営を経験、BtoBからエンタメまでイベント開催をサポートしてきた。

名古屋の地元イベント会社や主催者に新会場の提案をすると「これまで音楽ライブはライブハウス、コンサートは劇場といった会場利用が多かったようで、ビルイン施設でのエンタメイベントを新鮮に受け止めていただき、期待値の高さを感じます」と反応は上々のようだ。

中日ビルには、高層部にロイヤルパークホテルズ (約250室) が、7階に屋上広場が予定されており、目の前には久屋大通公園が広がる。

開業に向け1年を切る2023年4月1日からいよいよ申込受付を開始する。



大塚 裕紀さん
株式会社マグネット
スタジオ
運営管理本部
中日ホール & カンファ
レンス リーダー

New
venue

東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 東京駅直結の多機能空間

● 2023年3月10日オープン

「東京ミッドタウン八重洲カンファレンス」は4F・5Fに大小の会議室・イベントスペース・配信スタジオと多機能空間が10も揃う東京駅地下直結の会場。会議室での株主総会などフォーマルなイベントから、外光の入る真っ白で開放的なイベントスペースでのスタイリッシュな交流会など、表情が多様だ。各会場単独だけでなく、連携イベントも見込める。



大会議室1+2 (382㎡・写真上)
イベントスペース (199㎡・写真下)
画像提供：株式会社丹青社
撮影：株式会社ナカサアンドパートナーズ

Unique
venue

ONE-STOP! SHIBUYA

マーケティング・ブランディングを支援 体感価値を創る渋谷の街活用

渋谷の街を活用し、マーケティングやブランディングを支援するONE-STOP! SHIBUYA。「渋谷フレンチフェスティバル2022」では、駅周辺広場での①マルシェイベント、域内飲食各店で特別メニューを提供する②レストランプロモーション、百貨店等の食品売場で③流通連動施策を提案。食べる & 飲む、買う、学ぶ、さらにビジネスという食の多様なシーンで同時多発的に体験接点をつくりだした。

ファッション業界向けイベントである東京コレクションが、2012年に渋谷で開催されるようになると、「渋谷ファッションウィーク」として、ファッション、アート、カルチャー、スポーツなど街全体で展開した。

ONE-STOP! SHIBUYAを推進している東急メディア・コミュニケーションズの磯野絵璃奈さんは、「渋谷駅周辺の再開発中の工事現

場や、文化村通りの路上ランウェイなど、独創性の高い演出も評判になった。しかし、ハード面のコーディネート以上に重要なのは、流行の発信地、若者が集まる、イノベーション、多様性という渋谷の持つ文脈をイベントに載せること」という。街とイベントの双方が魅力を高め合うエコシステムだ。



工事現場や公道をランウェイに



磯野 絵璃奈さん
東急メディア・コミュニ
ケーションズ(株)
企画開発本部 企画開
発部 プランナー

CHUNICHI HALL & CONFERENCE
中日ホール & カンファレンス



名古屋「栄」、2024年春オープン！ 2023年4月1日より一般予約開始

ちかから
渋谷の情報発信力



ONE-STOP! SHIBUYA
<https://eventvenues-shibuya.jp/>

渋谷でのプロモーションやPRにおいて、独自の情報と圧倒的なネットワーク力を活かした、ONE-STOP! SHIBUYA だからできる新しいマーケティングをデザインします。

2023年5月13日 SAGA アリーナがグランドオープン!

佐賀県に5月13日“新時代のエンターテインメントアリーナ”SAGAアリーナがグランドオープンする。2024年のSAGA2024（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）の会場でありスポーツをはじめ、コンサートやMICEなど多目的に利用できるアリーナが誕生する。



JR佐賀駅から徒歩で約15分と立地も良い

高いエンターテインメント性とプレミアムな空間

国内最多のバリエーションを誇る約8,400席の観客席。すり鉢状の観客席は最大35度の急勾配で、どの観客席からも見やすく臨場感あふれる体験ができる新時代のエンターテインメントアリーナだ。

SAGAアリーナの特徴は、エンターテインメント性の高い演出を可能とする設備だ。センター・リボン・壁面の3つの大型ビジョンを標準装備するのは全国でSAGAアリーナが初

で、圧倒的なスケールで訪れる人を魅了する。さらに、利用者の満足度を最大限に高めるのが、ビジネス向け空間の充実だ。

3階のプレミアムフロアでは、開放的なスイートルounge、特別感を演出するプレミアムラウンジ、同僚・家族・友人とプライベートな空間を楽しめるプレミアムルームなど、興行の用途に合わせワンランク上の特別体験が提供可能となる。

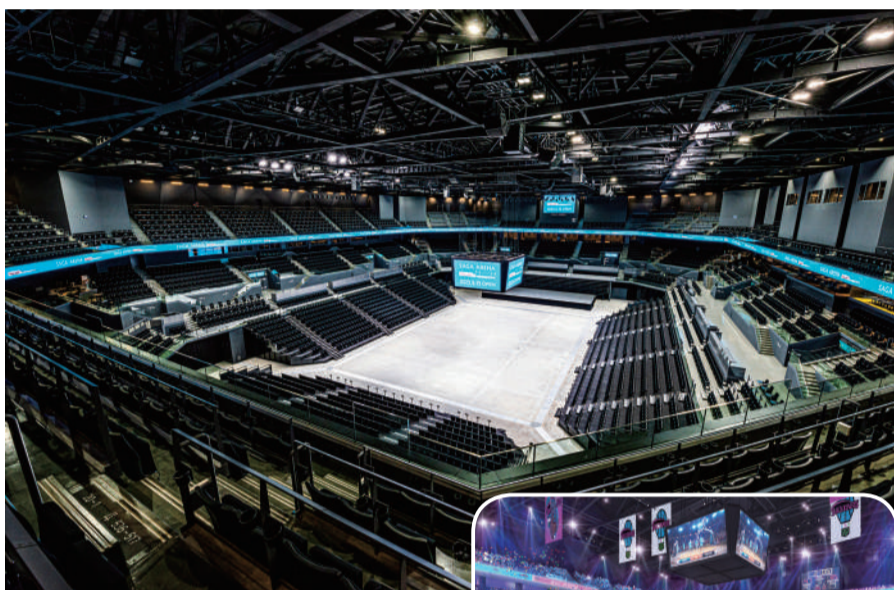
スポーツ、コンサート、学会など多彩なイベントを開催

5月13日のグランドオープン後に多彩なイベントが開催予定である。

6月には、荒川静香、宇野昌磨、安藤美姫ほか、約10組の豪華ゲストスケーターたちが出演する「プリンスアイスワールド2023佐賀公演」が開催。そして、国民的ロックバンド「B'z」の全国ツアーはSAGAアリーナからスタートする。夏休み期間中には、松任谷由実さんの

コンサートや「ディズニー・オン・アイス」なども開かれる。

この他にも、バレーボールVリーグ1部の「久光スプリングス」やバスケットボールBリーグ2部の「佐賀バルナーズ」といったプロスポーツチームのホームアリーナになるほか、7月には医療系の全国規模の学会が開催予定など、多目的に利用できる。



すり鉢状観客席は最大35度の急勾配で、どの観客席からも見やすい設計



3つの大型ビジョンを標準装備

福岡都市圏から1時間の好アクセス

福岡市から電車で約40分、佐賀駅からSAGAアリーナまで徒歩で約15分と、福岡都市圏から約1時間でアクセスも抜群。新宿

駅から横浜アリーナへの移動とおおよそ同じ感覚で、九州地域での集客にも魅力的だ。



お問い合わせ

○利用予約について
(株)SAGA サンシャインフォレスト
TEL: 0952-32-4070
Email: rsv@saga-sunrisepark.com

○MICE 誘致について
佐賀県 SAGA アリーナ MICE 誘致促進チーム「markA」
TEL:0952-25-7345
Email: sagaarena-marka@pref.saga.lg.jp



プレミアムフロアには3つのラウンジと10の個室があり、様々なシーンで活用が可能

2023 SAGAアリーナイベント続々決定!

SAGAアリーナでのイベントは
ここから Check



6/10 SAT • 11 SUN



プリンスアイスワールド
2023 佐賀公演

6/17 SAT • 18 SUN



B'z LIVE-GYM Pleasure 2023
-STARS-

7/29 SAT • 30 SUN



50th Anniversary
松任谷由実コンサートツアー
The Journey佐賀公演

8/25 FRI • 27 SUN



ディズニー・オン・アイス
100 Years of Wonder

※ご好評につき、各イベントのチケットは完売する場合がございます。最新の販売情報は各イベントの公式ホームページ等でご確認ください。

“ OPIE ' 23 ” (OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2023)

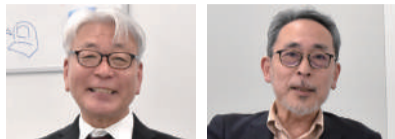
展示会 開催宣言！

OPIE'23

会期：2023年4月19日(水)～21日(金)
10:00～17:00

会場：パシフィコ横浜

小さな専門性の集まりで、双方向の技術交流

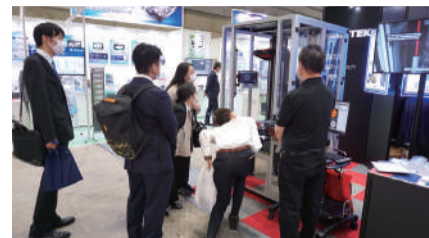


(株) オプトロニクス社

代表取締役社長 大沢 哲夫 さん(左)

事業企画 柏木 克哉 さん(右)

光とレーザーの最新技術・製品・情報が集結する OPIE'2023 が 4 月 19 日から 3 日間、パシフィコ横浜で開催される。昨年を大きく上回り、約 40 社 536 小間と出展小間が完売した同展の発展や、業界での役割について、展示事務局の(株)オプトロニクス社の代表取締役社長大沢哲夫さんと事業企画担当の柏木克哉さんにうかがった。



光の応用範囲の増加で 拡がる構成展示会

1994年にレーザー EXPO の名称で、幕張メッセで初開催。(一社)レーザー学会の年次大会併設展として、毎年会場を変えていたが、2000年から独立し、毎年パシフィコ横浜での開催となった。2006年にはレンズ設計展を新設し、2012年から展示会を OPIE、併設の国際会議を OPIC として実施している。

構成展示会は、半導体の微細加工や核融合点火の高出力化が話題の「レーザー EXPO」、日本企業が世界で活躍する「レンズ設計・製造展」、応用範囲の広い「ポジショニング EXPO」に加えて今年は新装展 2 つと新たに

「光通信・要素技術&応用 EXPO」も新設した。

光通信の分野は AI やメタバースによる情報トラフィックの指数関数的増加に対応する、情報伝達と低消費電力、低遅延の新技术が注目。「beyond Internet」を目指す NTT グループの IOWN (アイオン) 構想には IT 企業以外にも多様な企業や研究機関が参画している。

密接につながる業界社と プロが集まる技術相談の場

「大手企業が大小間で出展という、通常の展示会とは少し異なる」と OPIE を運営するオプトロニクス社の柏木克哉さんは話す。半導体のような世界的企業を中心とした市場ではないこと。一方で、多くのアイテムを取り扱う中小規模の専門商社が大小間で出展することも少なくない。ある分野では競合し、別分野

では出展者間で売買していたり、業界内の各企業が密接に関連しているのも特徴だ。

購入・仕入れの商談もあるが、どちらかといえば、光の技術で課題を解決できないか、といった相談をしている人の姿が多く、逆に出品者が来場者に意見を求めることもよくある。その様子を「小さな専門性の集まり。技術の蹴り合い」と大沢哲夫さんは表現する。

OPIE はコロナ禍でもオンライン展示会を開催しなかったが、その理由の 1 つに、こうした会場でのコミュニケーションのスタイルもあった。「オンラインを否定しているわけではなく、現にウェビナーは多数実施している。当社は出版社なので、オンラインは媒体の 1 つ、情報発信の目的に適したプラットフォームを選ぶという感覚」と大沢さんは語る。

今回、過去最大規模に成長した主要因は

海外企業の出展が 25% 近くまで増加したこと。ドイツだけで 3 つパビリオンを展開しているほどだ。また企業だけでなく、パートナーを探す研究所の出展も多い。「同分野の海外展示会で日本パビリオンの運営を行っており、そのネットワークが活かしている」(大沢さん)。

オプトロニクス社はレーザーと光学の分野を軸に、「月刊 OPTRONICS」をはじめとする雑誌・書籍の発行や人材紹介などの事業を展開している。展示会事業は同社のランドマークであるだけでなく、新たな情報やネットワークとの出会いであり、各事業が循環するためのツールともなっている。「どの展示会も、業界発展へ貢献しているが、あらゆる事業が業界と関連している当社は、一連托生。年間 365 日 40 年間、光のことを考えてきたし、これからもそれは続く」と大沢さんは話す。

Venue
Event
Community

集い、交わる場(中規模スペース・ベニュー/イベント主催者)を企画・運営するひとたちが集まって、へちやくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

イベントの映像特集

次の 4 月 30 日号で特集します

映像で伝わるワタシの魅力♥

5 月 31 日号 人材・イベント 業界の～働き方
6 月 30 日号 イベントの DX
7 月 31 日号 イベントの食を考える
8 月 31 日号 空間ディスプレイの進化
9 月 30 日号 エリア特集<大阪>

広告出稿の間合せはこちら▶株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

EVENT01 MARKETING

EVENT02 MARKETING

EVENT03 MARKETING

EVENT04 MARKETING

EVENT05 MARKETING

EVENT06 MARKETING

EVENT07 MARKETING

EVENT08 MARKETING

EVENT09 MARKETING

EVENT10 MARKETING

EVENT11 MARKETING

EVENT12 MARKETING

EVENT13 MARKETING

EVENT14 MARKETING

EVENT15 MARKETING

EVENT16 MARKETING

EVENT17 MARKETING

EVENT18 MARKETING

EVENT19 MARKETING

EVENT20 MARKETING

EVENT21 MARKETING

EVENT22 MARKETING

EVENT23 MARKETING

EVENT24 MARKETING

EVENT25 MARKETING

EVENT26 MARKETING

EVENT27 MARKETING

EVENT28 MARKETING

EVENT29 MARKETING

EVENT30 MARKETING

EVENT31 MARKETING

EVENT32 MARKETING

EVENT33 MARKETING

EVENT34 MARKETING

EVENT35 MARKETING

EVENT36 MARKETING

EVENT37 MARKETING

EVENT38 MARKETING

EVENT39 MARKETING

EVENT40 MARKETING

EVENT41 MARKETING

EVENT42 MARKETING

EVENT43 MARKETING

EVENT44 MARKETING

EVENT45 MARKETING

EVENT46 MARKETING

EVENT47 MARKETING

EVENT48 MARKETING

EVENT49 MARKETING

EVENT50 MARKETING

EVENT51 MARKETING

EVENT52 MARKETING

EVENT53 MARKETING

EVENT54 MARKETING

EVENT55 MARKETING

EVENT56 MARKETING

EVENT57 MARKETING

EVENT58 MARKETING

EVENT59 MARKETING

おかげさまで創刊 7 周年

愛されるイベマケから

業界のみなさんを愛するイベマケに

株式会社 MICE 研究所
月刊イベントマーケティング編集部
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 4F-4
Tel: 03-6721-5303 / Fax: 03-6721-5704
https://www.event-marketing.co.jp

2000万円上限に助成 フェスティバルも対象に

「芸術文化魅力創出助成」
公募ガイドライン



—芸術文化魅力創出助成

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京は、「芸術文化
魅力創出助成」の2023年度第1期
の申請受付を3月24日から開始した。
申請締切は5月15日18時まで。

東京の芸術文化の魅力向上を目指
した文化戦略の一環として実施され
るもので、より多くのアーティストや
スタッフの支援につなげることを目
的に、複数の団体や多くのアーティ
ストが参加する持続力・波及力のある
革新的な創造活動、フェスティバル
やアートプロジェクトを支援。支
援内容は、実施にかかる助成対象経
費の2分の1以内で、かつ2,000万
円を上限額とする。

また、別途サポート費で、実費支
援（上限有り）も併せて行う。

申請者資格は、都内に所在する芸
術団体、民間の劇場・アートスペース、
民間企業、中間支援組織、実行委員会、
外国政府機関、大学・研究機関等の
団体（個人は不可）。

対象分野は、音楽・演劇・舞踊・美術・
写真・文学・メディア芸術（映像・映画、
マンガ、アニメ、ゲームなど）・伝統
芸能・芸能・生活文化（茶道、華道、
書道など）・ファッション・建築・特
定のジャンルにとらわれない芸術活
動（複合）等。

対象事業は、＜インクルージョン
& サステナビリティ＞＜サイエン

ス & アート＞＜東京の魅力発信とな
る芸術文化（大規模な地域活性化の
事業を含む）＞のテーマいずれかに
該当する芸術文化事業で、公開を伴
うものであり、複数の団体が主催・
共催する、波及力を有する事業。

対象となる実施期間は、2023（令
和5）年7月16日以降に開始し、
2024（令和6）年7月15日までに終
了する事業（※年2回公募を予定、
第2期は2023年8月に公募開始予
定）。

公募説明会は、4月5日・19日に
オンラインで開催される。詳細およ
び公募ガイドラインは、アーツカ
ウンシル東京ウェブサイトへ。

スポーツビジネスを推進する取組みを表彰

3月10日、東京ミッドタウン日
比谷 BASE Q で INNOVATION
LEAGUE 2022 デモデイが開催。

当日は全日本柔道連盟及び日本ア
イスホッケー連盟との事業共創を目指
す「INNOVATION LEAGUE ア
クセラレーション」の採択企業の4社

がプレゼンテーションを実施。

また、スポーツやスポーツを活用
した新しい取組み・優れた取り
組みを表彰する「INNOVATION
LEAGUE コンテスト」では、受賞者
4社ファイナリスト3社が発表した。
受賞者にスポーツ庁の室伏広治長



官から表彰状やメッセージが送られ
た。

Pick up
the Words!

新しいフェス開拓 日本の財産を 磨き上げ 光らせ スポットライト当てる!



井出 辰之助さん

日本でフェスという言葉が定着しはじめた2000年よりも前に、
音楽フェスのスポンサーサイドを経験し、転身、主催する側と
なって約25年となるイベントプロデューサー井出辰之助さん。野外やオールナイ
トといったスタイルをつくり、多様化してきたフェスに、新しいカタチを模索。伊勢
志摩に4年通い続け実現した地域密着型のフェス「ありの拍子」の舞台裏や静
岡県・富士市で開催されるキャンプフェス「FUJI & SUN '23」(5/13-14)につ
いて語った。(3月10日配信)



infusiondesign 代表 / イベントプロ
デューサー
1999年より野外音楽フェス、アート
イベント、企業イベント等の企画・制
作・運営として、これまで1000以
上のイベントに携わる。2019年5月
WOWOWと共に静岡県富士市で野外
音楽フェス「FUJI&SUN」を主催。趣
味は温泉と登山とバックカントリー。

このお・よ・その
ミュー・トを解除!

本紙公式 YouTube チャンネルでは、イベントレジストヒヤマコウスケさん、イベントマーケティング樋
口陽子がキーパーソンをゲストに招いて「コースケ・よーこのミュー・トを解除!」を毎週金曜日12時から
30分間お届け。3月は、3日合同会社企画室代表・守屋慎一郎さん、17日あんき屋柴田拓哉さん、24
日PCMA 金田翔吾さん、31日ソラコム松下享平さん。

イベントレポート

「Born Global」初めから世界を目指す イノベーション生むイベントを開催 —City-Tech.Tokyo



ピッチコンテスト「City-Tech Challenge」。セッション含め、英語で進行された

グローバルイベント「City-Tech.
Tokyo」が2月27日・28日の2日間、
東京国際フォーラムで初開催された。
主催は東京都。

35か国から388社のスタートアッ
プが競い合ったピッチコンテスト
「City-Tech Challenge」、約41カ国・
地域のスタートアップ328のブース
が出演した展示、20以上のセッシ
ョンなど、多彩なプログラムで構成さ
れ、都市課題を乗り越え、新たな都
市像を創り出すための多彩なアイデア

アやテクノロジーが集結した。

参加者総数は26,746人（うちオン
ライン参加15,579人）。

また、同会期で世界各都市の市長
や知事が集まる「G-NETS (Global
City Network for Sustainability)」
の首長級会議「Leaders Summit」
も並行して開催し、政治のプレイヤー
も東京に集結することで、シナジー
効果を狙った。

次回開催は、2024年5月、東京ベ
イエリアで予定されている。



「City-Tech Challenge」最優秀賞に
は核融合プラントエンジニアリング
で世界有数の技術力を有する Kyoto
Fusionering Ltd. が受賞した



東京都が掲げる「Sustainable High City
Tech Tokyo = SusHi Tech Tokyo」は
職人の技術を文化へと昇華させてきた
“鮎”を再解釈しコンセプトを展開した



「インフラ、環境、生活、文化テーマ
に様々な議論が交わされた熱量ある2
日間だった」と英語でスピーチした小
池百合子東京都知事



セッション「Culture × City論 - 食・ア
ート・エンタメで彩るサステナブルな
まちづくり -」に登壇した小林武史氏と
小橋賢児氏

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数: 約20件
デジタルマーケティングと
オフラインを組み合わせて
販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー

▶年間イベント件数: 100件超
業界のファーストムーバーとして
異業種のトレンドを知り
講演会に活かしたい

IT企業向け マーケティングサポーター

▶年間イベント件数: 約150件
イベントマーケティングに関わる
テクノロジーやツールについて
情報収集したい



特集

イベントマーケティングのトレンドを
国内外の事例や動向から分析し、
メーカー・イベントターの
皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールや
テクノロジーの最新情報、
開催直前概況・
事後レポートなどを
紹介します。



コラム

幅広い視野と独自の視点、
経験をもつ
著名人が執筆します。



インタビュー

リアルコミュニケーションを
楽しくテーマに
話題の方々ほか、イノベーター、
イベントメーカー、
主催者の声を収録。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、
効果最大化の手法など、
face to faceを科学する
レポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所: 株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp



ケニアの都市文化、メンタリティーを感じるアート

アーティスト

マイケル・ソイ さん

2月にケニア・ナイロビで開催された「SEX & THE CITY V」(写真右)。ケニアを代表する現代アーティストMichael Soi & Thom Ogongaの2人の展覧会だ。この会期前、制作現場でマイケルソイさんのインタビューを実施。社会的風刺やシリアスな問題をコミカルに表現する彼の視点や創作スタイルについて唸りと語っていただいた。

なお、日本でソイさんの作品に出会える機会が、4月27日から渋谷スクランブルスクエアの「アフリカンミニフェスat渋谷スク」にて展開される。「ソイの表現は、ケニア人らしく、シュールだけど明るい」と評されるが、彼の作品からはケニアの太陽や風土が育んだメンタリティーが感じられる
(編集=樋口陽子/取材・撮影=堀田乃倫子/通訳=遠藤真理)

——ナイロビでの展覧会タイトル「SEX & THE CITY V」に込めたメッセージは

ソイ 「SEX & THE CITY V」は、論争的となっている、ナイロビの街の性産業を探求し続ける作品です。同意している大人同士の個人的な関係については、時には不快な思いを抱かせることもあります。この展覧会では、一般的に受け入れられているが不道德と見なされているライフスタイルのスナップショットを描いています。乱行を美化する意図はなく、私たちがナイロビに住んでいて垣間見る、この都市空間の社会的現実のパロディーとして、イメージ下にある深さを熟考するよう、私たちに刺激します。

——いまの社会風刺的な創作スタイルになったきっかけは

ソイ 絵を描きはじめて当初は、わかりやすくケニアの農夫やサファリの風景を描くように勧められました。でも、ナイロビの都心に生まれ育ったから実際に見たことがなかった。サファリを初めて訪れたのも46歳の時です。それで、当時は目の前にある猫を描いていたこともあります。その後クラブやアベニューなど、ありのままのナイロビの街の風景を描くことからはじめました。

社会現象をシリーズ化して描くこともあります。2017年から、自撮りする大勢の人々を描

いたiPhoneシリーズは全部で6枚。そのうち2枚はアップル社に購入されました。

——(アトリエにて)いま描いている作品は、記憶の風景ですか、それとも創作ですか

ソイ 毎週日曜に行くバーで目にする光景からイメージが湧いてくるんです。午後1時から夜10時まで開いているからよくそこにいます。

——どの作品の人物も生き生きとした表情に心奪われます

ソイ アフリカの女性たちは我が人生。リズムカルで躍動感あふれている姿をこよなく愛しています。

——好きな画家は

ソイ パブロ・ピカソ。面白い人だよ。女性のことが大好きで同時に何人もの女性を好きになる。彼が何人の女性と結婚したか知っている？5人だよ。結婚するたびに家を買ってその家を自分のアートで一杯にしていた。5人と結婚したから5軒の家を持っていた。

——ピカソはアフリカの影響を受けているでしょう

ソイ そうだね。世界に影響を与える国々ではないと言われるアフリカだけど、彼に影響を与えたね。



マイケル・ソイさん / Michel Soi

1972年生まれ。ケニアの首都ナイロビ在住。アメリカやヨーロッパから注目を浴びる作家で、ケニアのみならず、アフリカを代表する現代アーティスト。2021年6月「今知っておくべきアフリカの現代アーティスト6人」としてIndustrie Africaで選ばれる。

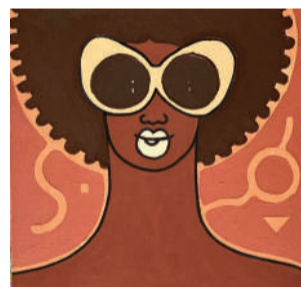


今回ナイロビでのエキシビジョンでポスターに使われた絵(上)
ソイ氏の定番女性のポートレート(右)

——これからアフリカの国々は、先進国より強くなると思いますか

ソイ 答えはノーです。植民地時代の問題が残ったままですから。たとえばナイジェリアやケニアでは僕たちの文化や宗教だけでなく頭脳も奪われた。オックスフォード大学に留学して卒業して生まれた村に戻っても村の人たちの暮らしは変わっていない。それじゃ国は変わらない。これがアフリカの問題です。

貧しさは経済の問題だけでなく、人々の考えから生まれるとも言えます。



ケニアのアーティスト制作コミュニティ

ケニアの首都であり、最大都市であるナイロビから車で5分圏内に、アーティストのアトリエが集まるコミュニティのような場所がいくつかある。ここでは、2つを紹介。

Go Down Art Centre

マイケル・ソイ氏が、アトリエを置いているアートセンター。敷地内には全部で5人のアーティストがアトリエや仕事を1部屋ずつ構えている。



Kuona Artist Collective

彫刻作家や絵画作家など、さまざまなジャンルのアーティストのアトリエがあり、敷地内には額装屋とランチを提供する店もある。

「アフリカンミニフェスat渋谷スク」

会期：4月27日(木)~5月10日(水)

会場：渋谷スクランブルスクエア 5F
(東京都渋谷区渋谷2-24-12)

概要：マイケル・ソイの作品の他
今のアフリカのカルチャーを感じるコンテンツが多数



マイケル・ソイさんの作品は最新作から持ち歩けるアートとして人気のバッグ作品が展示される

「読者プレゼント」



マイケル・ソイの紅茶



ケニア山の麓で栽培されている茶葉。標高が高く虫が来ない場所で栽培される茶葉は農薬を使わずに、たっぷりの太陽の光を浴びて育ったものです。しっかりとした味わいでミルクティーで飲むのもおすすめ。

マイケル・ソイの絵がパッケージの紅茶(裏面には作家のプロフィールと、美味しい飲み方が記載)を15名の方にプレゼント。

応募方法:上記QRコードにて(応募締切:4月14日)